



「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

令和3年4月25日号

発行所/ (有)アミックス
〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

原料はすべて
自然由来です

新発田県ファーム
高橋農園の
手作りジャム

600円税別
●レクチェ ●りんご ●桃

高橋農園
(新発田市緑山1314)
TEL.0254-29-2287
http://takahashinouen.com/

ジャムやジュース販売中!
ご贈答に人気です。

しばた健康ファーム 検索



ワクチン接種を受ける高齢者 (4月12日・豊浦愛広苑)

感染症対策の切り札 ワクチン接種始まる

まずは介護など福祉施設、
次は65歳以上の高齢者から

4月12日(月)、新発田市の介護老人保健施設・豊浦愛広苑で医療従事者以外への新型コロナウイルスのワクチン接種が行われた。この日は入所者20人が一人ひとりに職員が付き添う中で医師の八木和徳施設長から腕に筋肉注射を受けた。接種後は隣りに設けられた待機所に移動し経過観察をした。急変に備えてヘッドも用意され、看護師ら

に体調の変化を聞き取られたが、副反応は見られなかった。今回、豊浦愛広苑に配布されたワクチンは100人分、同16日までに入所者全員に第1回目のワクチン接種を終えた。接種終了後、八木和徳施設長は今回のウイルスに対して「健常と見える不顕性感染者が感染源となる、大変やっかいなウイルスとの認識を示したうえで、これまでは防戦一方だったウイルスに対して、よう

やく反転攻勢の第一歩を踏み出した気がします。病院や介護施設では厳格な隔離が行われていて、いったん施設に入るを長期間外部の人とは対面することができません。ワクチン接種によって抗体を持った人がたくさん増えて、1日も早く家族の方などに自由に面会できるようにになれば、と期待しています」と語った。

*

この日県内でワクチン接種が行われたのは新発田市をはじめ、長岡市、聖籠町の3市町、いずれも県や市と関係機関が密接に話し合って準備が整ったところから行われたという。豊浦愛広苑ではマスク・コミ対応など事前の準備も怠りなかった。集団接種が個別接種のいずれかを選択し、5月中旬以降、高齢者のワクチン接種開始。新発田市では今後順次接種対象を増やしていく。方法は福祉施設等で行われる出張接種、特定の会場で行われる集団接種、医療機関で行われる個別接種の3種。市では4月8日(木)に接種のクーポン

券を発送、約1週間程度で配達を終え、75歳以上(昭和22年4月1日までに生まれた人)は5月6日(木)から予約を開始し、65歳以上(昭和32年4月1日までに生まれた人)は5月17日(月)から予約が開始される予定だ。予約で接種場所と接種受付時間が決まったら予約表に必要事項を記入、接種券と運転免許証あるいは健康保険証などの本人確認書類、持っていればお薬手帳などの必要な持ち物を持って会場に向かう。

集団接種を選んだ人の予約専用ダイヤルは0570-666-426、予約受付時間は土・日・祝を除く午前9時〜午後4時半となっている。集団接種会場はコモプラザと新発田市保健センターの2か所で、接種可能日と接種受付時間は、クーポン券同封のチラシ②に明記してある。

*

医療機関での接種を希望する人は、医療機関受診時か電話で相談・予約する。接種可能医療機関と予約受付時間、予約開始日などは、クーポン券同封のチラシ③に明記してある。

いずれにせよ、「クーポン券」同封の書類をよく読むこと、それでも分からない場合は土・日・祝を除く午前9時〜午後4時半の間に新発田市専用コールセンター0254-20-7771にお問合せを。

新型コロナウイルス対策

しばた Tomorrow 基金

寄付募集

新発田市では新型コロナウイルス感染症の流行により、さまざまな影響を受けている方を支援するために昨年の春、「しばた Tomorrow 基金」を創設。市民の皆さんの寄付金を募っています。

■寄付方法

①口座振込
振込先/新発田信用金庫本店
口座名/しばた Tomorrow 基金
口座番号/普通 0496192

②窓口寄付
ヨリネスしばた・イクネスしばた・市役所各支所など
※税制優遇措置のための領収書が必要な方は問い合わせを。

市会計課 ☎0254-28-9330

コラム

花見

加治川治水公園の桜

▼家の庭にはムスカリの小さな紫の花が群れるように咲いている。街の染井吉野はいつもより早く2週間ほど前に終わり、今はただ桜も散り始め、八重咲きが盛り。遠くの山の山桜がポツポツと開き始めた▼お城や加治川堤防には、普段の年ならシートを広げて花を楽しんでいるグループがあふれる。ところが去年今年と、座って眺めるのが今年今年と、座って眺める姿は見えない▼長屋の花見という落語がある。貧乏長屋の花見の断で、卵焼きの代わりに沢庵漬、かまぼこの代わりは大根。当然、お酒はなく、一升瓶に入っているのは番茶である。▼大家さんは「酒を飲んでるんだ。景気よく酔っ払え。灘の生一本だ」とけしかける。店子は「宇治かと思った」と混ぜ返して「大家さん、近々長屋にいいことがあります。そんなこと分かるのかい。」「酒柱が立ちました」▼登場人物は情けない状況におかれてブツブツ文句を言いながらも、それなりに楽しんでる。たくましいなあ▼福祉施設でワクチン接種が始まった。県内では最速で、高齢者は5月から。とりあえず9月には全国民分のワクチンが揃うとか▼愛広苑の八木和徳先生は「反転攻勢」と表現した。今年中に対策の切り札である接種が終われば、来年はみんなと花見も出来るだろう。もう少しの辛抱だ。

歯と口腔の健康づくり推進条例

新発田市議会は「歯と口腔の健康づくり推進条例」を3月議会で制定した。

この条例は3年前の令和元年8月の議員勉強会、前新発田市歯科医師会長の田上正幸氏から歯と口腔ケアが全身の健康状態に直結していることを学んだことをきっかけとして、渡邊喜夫議員の「条例制定を目指す」との意見に賛同した議員らが一丸となって推進したものだ。

* 議会では議会運営委員会が全会一致で条例を議決、社会文教委員会の所管となった。委員会では宮崎光夫委員長・板倉久徳副委員長の指導の下、阿部聡議員が事務局を務め、市歯科医師会（会長＝長島節志）のアドバイザーを受け、行政担当部署の健康推進課課長＝見田賢一らと政策のすり合わせを精力的に重ねた。市はすでに「健康長寿」を重要施策として各種の施策を具体化させていたからである。

条例成立後、宮崎委員長は、市はこれまでも全国に先駆けて歯科の健康推進に努めてきた。歯と口腔の健康が心身の健康を増進するところが最近の研究で明らかになってきた。歯と口腔の健康の推進は市の「健康長寿」政策とも合致する。これからは条例に定められた理念を元に、具体的な事業を展開すべく議会も努力する。議員諸氏はもちろん議会事務局や条例制定に尽力くださった方々に感謝すると述べた。

歯の健康（口腔ケアの実施で健康寿命が延びる）は本紙の連載で伝えてきた。
82頁「総論」88頁以下で「脳機能性肺炎」の死を8割程度減少する①②「心筋梗塞・脳梗塞」などの循環器系のリスクを低減させること ③糖尿病の発症・悪化リスクを低減させること ④早産や低体重児出生のリスクを低減させること ⑤アルツハイマー型認知症の進行を抑制すること、そしてその科学的根拠に基づいたメカニズムを順次掲載・紹介した。

脳梗塞などの循環器系のリスクを低減させること ③糖尿病の発症・悪化リスクを低減させること ④早産や低体重児出生のリスクを低減させること ⑤アルツハイマー型認知症の進行を抑制すること、そしてその科学的根拠に基づいたメカニズムを順次掲載・紹介した。

* 条例の前文には次のようにある。

本市は、長年にわたり、地域の歯科医師会をはじめ、関係機関及び関係団体などと緊密に連携し、80歳代で20本以上の歯を保つことを目標に、歯と口腔の健康づくりに関する取り組みを推進してきました。（中略）未来に向けて、誰もが願う健康長寿社会を実現するために、これまで以上に市民行政及び関係機関が一体となり、歯と口腔の健康づくりに取り組みるよう、この条例を制定します。

* 第9条に定められた基本的施策は次の通りである。

- （一）歯と口腔の健康に関する知識並びに歯科疾患並びに歯及び口腔の外傷を予防するための取組に関する普及啓発を推進する。
- （二）生涯にわたる歯及び口腔の疾患の予防及び早期発見並びに治療のために必要な施策を推進する。
- （三）全身疾患に関連する歯科疾患の予防及び治療が適切に行われるように関連分野との連携を推進する。
- （四）保護者による適切な歯と口腔の健康づくりが適切に行われていない子どもに必要な施策を推進する。
- （五）歯科検診等又は歯科医療を受けることが困難な障がい児、障がい者、介護を必要とする者等に係る歯と口腔の健康づくりのための施策を推進する。
- （六）口腔に発生するがん等の対策を推進する。
- （七）災害時における被災者への歯と口腔に係る必要な取組を推進する。
- （八）歯と口腔の健康づくりに関する施策の評価に関すること。



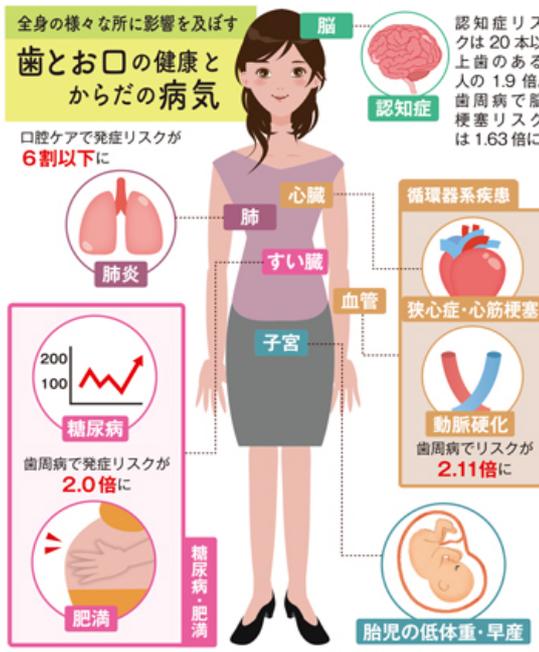
議員政策勉強会（令和元年8月）



歯科医師会との意見交換会（令和2年10月）



担当課との協議（令和3年1月）



とる者等に係る歯と口腔の健康づくりのための施策を推進する。

以上の通り、各号は施策の理念について規定したものだ。例えば、最近スポーツ選手が使用しているマウスガードや歯科検診の受診率の向上など、具体的な事業については今年に策定する「基業計画」で定められる。

最新の科学的根拠が示された「歯と口腔の健康づくりが健康長寿に直結する」ことを根拠に、第一歩を踏み出したと言える。

日頃の感謝を込めて！

大創業祭

開催期間 5/28(金) 29(土) 30(日)

新潟の旬がいっぱい！

店家の直売所

とんとん市場

- 新発田市 9:00～18:00
新発田市荒町1480
☎0254-20-2229
- 松崎店 9:00～19:00
新潟市東区新松崎1-6-14
☎025-274-2229

三遊亭好楽

落語会

5/15 必着

ベアチケット 3組6名様分をプレゼント！

本紙感想・住所・氏名・電話番号を明記の上、表紙左上の住所宛までハガキにてご応募下さい。

三遊亭小遊三

開場 13:30 開演 14:00

2021.6/6

入場料 全席指定 A席 2,500円 B席 2,000円 チケット 4/16 発売開始！

※未成年者の入場はご遠慮ください

新型コロナウイルス感染防止対策について

入場者は県内在住の方に限定させていただきます。

○社会情勢の変化により、公演内容の変更や中止または延期等を行う場合があります。○発熱や咳・咽頭痛などの症状のある方や、体調に不安がある方は来場をお控えください。○ご来場の際は、必ずマスクを着用のうえ会場入口での手指の消毒をお願いします。○会場内では出来るだけ人の密集を避け、適切な社会的距離の確保をお願いします。○感染拡大防止のため、必要に応じて観覧者の連絡先を保健所等の公的機関へ提供する場合があります。

【主催・お問い合わせ】
新発田市民文化会館
TEL.0254-26-1576
〒957-0053 新発田市中興4-11-7
【協】下越音楽鑑賞協会

【プレイガイド】
■新潟新聞「市民文化会館」TEL.0254-22-5726 ■健康長寿アクティブセンターキヨリ屋 TEL.0254-22-1254
■新発田市民文化会館 TEL.0254-26-6789
■新潟市観光情報センター（イクネス）MINTO 館内 TEL.0254-26-6789
■新潟市東区公民館 TEL.0254-22-2081 ■新潟市中央区公民館 TEL.0254-41-2291
■加茂川地区公民館 TEL.0254-33-2433 ■下越音楽鑑賞協会 TEL.0254-22-1404

私のからだ美しくなれ!

春に始めて 夏を楽しむ

6月末まで

エアロビクスでダイエット

春の特別キャンペーン

実感!
カラダよろこぶ
エアロビクス

「気楽に始めて」「気ままに通いたい」
そんなあなたに

うれしい!

1回 **500円** (要予約)

【5月の予定】

7日(金) 18:15~19:15
11日(火) 14:15~15:15
21日(金) 18:15~19:15
25日(火) 14:15~15:15



ピュアorange

お気軽にお問い合わせください

☎ 20-8826

月~金曜日 10:00~12:00
14:00~20:00
土曜日 10:00~14:00

ご安心ください コロナ感染防止対策実施中

- ★ 少人数制
お申し込みいただいた順に8名様まで
- ★ ご協力ください
マスクやフェイスシールド等感染防止対策をお取りいただいた上でご参加ください。



春季通常展
新発田藩の
歴史資料

令和3年
4月10日(土)~6月13日(日)

開館: 9:00~17:00

休館: 月曜(祝日開館・翌日休館)

歴史講演会

「新発田藩満口家資料から見る17世紀の高田」
—なぜ17世紀の高田がわかるのか?—

講師/浅倉有子氏 上越教育大学教授(日本近世史)

日程/5/15(土)

会場/新発田市生涯学習センター 1階講堂

開場/13:00 開演 13:30

申込受付/4/24(土)~5/14(金)

- 入場無料・事前申込必須
- 当館へ電話、または直接事務室へお越しください

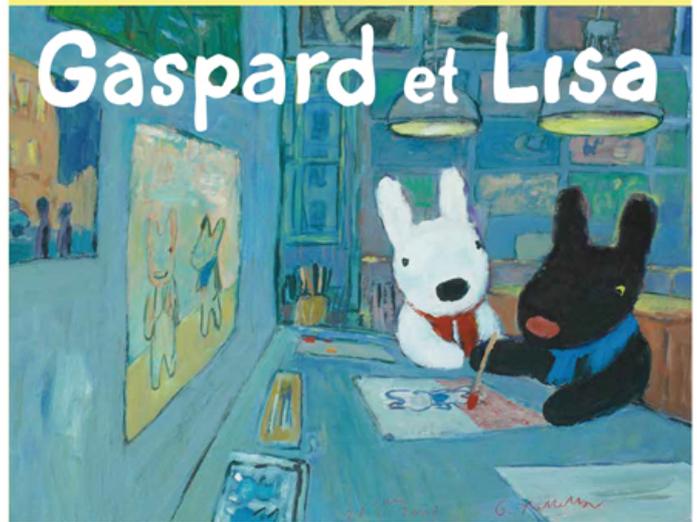
新発田市歴史図書館

新発田市中央町 4-11-27 ☎0254(24)2100

新発田の
悠久の歴史に、
思いを巡らせて
みませんか?

みんなの 落谷虹児記念館 春夏ファミリー企画
リサとガスパール展
—リサとガスパール しばたにくる—

Gaspard et Lisa



©2003 Anne Gutman & Georg Hallensleben / Hachette Livre

2021年 4/27(火)→8/8(日)

新発田オリジナル原画
1点を初公開!

開館時間: 午前9時~午後5時
(入館受付: 午後4時30分まで)

入館料: 一般・大学生510円(団体20名様以上410円)
高校生210円、小・中学生110円
幼稚園児・保育園児は無料

パリ在住の画家ゲオルグ・ハレンスレーベンと作家アン・グットマン夫妻によって生み出されたイヌでもウサギでもない不思議なバリの住人「リサとガスパール」が新発田にやって来ます! オリジナル原画「しばたにくる」を世界初公開!

落谷虹児記念館 1F

月曜定休(ただし5/3月は開館、5/6日は休館いたします。)

主催: 新発田市、新発田市教育委員会、落谷虹児記念館
協力: ソニー・クリエイティブプロダクツ、ブロンズ新社、Hachette Livre、オフィス渋谷

落谷虹児記念館

〒957-0053 新発田市中央町 4-11-7
電話 & FAX 0254-23-1013 (代表)